



◇若手イチゴ農家と面談
4年前から美濃市生籾でイチゴを育てる大矢的充さん(49)が、同市さくらヶ丘が、同市役所を訪れ、武藤鉄弘市長に栽培の現状を報告にした写真。

大矢さんは前職の食品会社で開発を担当し原材料に着目し、自ら育て販売までできる農業に興味を持った。JA全農岐阜の就農研修でイチゴ栽培を学んだ後、18坪のハウスで栽培している。大矢さんは「できるだけ長くイチゴを作り続けたい」と話した。